



JP 取扱説明書 1~4頁
原文翻訳：本日本語訳は、シュメアザール本社のドイツ語原文を基に作成されたものであり、翻訳上の疑義がある場合、原文及び英文のみが有効となります。

目次

- 1 この文書について 1
 - 1.1 機能 1
 - 1.2 対象：権限・資格のある人向け 1
 - 1.3 使用記号の説明 1
 - 1.4 適切な使用 1
 - 1.5 安全上のご注意 1
 - 1.6 誤った使用に関する警告 1
 - 1.7 免責事項 2
- 2 製品内容 2
 - 2.1 型番 2
 - 2.2 特殊仕様 2
 - 2.3 目的 2
 - 2.4 技術データ 2
 - 2.5 安全分類 2
- 3 取り付け 3
 - 3.1 通常取り付け方法 2
 - 3.2 外形図 3
- 4 電気配線 4
 - 4.1 電気配線上の注意 4
 - 4.2 接点仕様 4
- 5 セットアップとメンテナンス 4
 - 5.1 機能テスト 4
 - 5.2 メンテナンス 4
- 6 取り外し および廃棄 4
 - 6.1 取り外し 4
 - 6.2 廃棄処分 4
- 7 適合宣言 4

1. この文書について

1.1 機能
この取扱説明書には、製品の安全な運用と取外しのために、取付け、セットアップ、試運転に必要なすべての情報が記載されています。取扱説明書は、読み易い状態で、完全版を機器の付近に保管してください。


1.2 対象：権限・資格のある人向け
この取扱説明書に記述された全ての操作は、使用者によって認められた専門技術者が行ってください。

この取扱説明書を熟読し、製品の据付及び運転の前に、労働安全および事故予防のために適用されるすべての法令・規定について確認してください。

機械製造者は、準拠すべき整合規格や、部品の選択、取り付け、インテグレーションに関するその他の技術仕様を慎重に選択する必要があります。

1.3 使用記号の説明

 **情報、助言、注釈：**
この記号は、有用な追加情報を示します。


 **注意：** 取り扱いを誤った場合に、故障、機能不良が想定される内容を示しています。
警告： 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1.4 適切な使用
シュメアザールが提供する製品は、個人消費者向けではありません。

本製品は、設備や機械の一部として安全関連機能を果たすために開発されたものです。機械や設備全体が正しく機能することを保証することは、機械や設備の製造者の責任です。


セーフティスイッチは、下記に挙げたバージョン、または製造者によって認められたアプリケーションにのみ使用しなければなりません。アプリケーションの詳細は、「製品内容」の項を参照ください。

1.5 安全上のご注意
使用者は、この取扱説明書の注意書き、各国特有の据付規格、周知の安全規格及び事故予防方策を順守しなければなりません。

 詳細な技術情報についてはシュメアザールカタログ、又はインターネット (products.schmersal.com) 上のオンラインカタログをご参照下さい。

仕様などの記載内容について予告なく変更する事があります。あらかじめご了承ください
取付、据付、操作及び保全に関する説明書と同様に安全に関する注意が遵守されていれば、残留リスクはありません。

1.6 誤った使用に関する警告

 本製品の不十分、不適切な使用及び無効化の際は、人への危険、機械 設備への損害を負う可能性があります。

1.7 免責事項

誤った取り付けやこの取扱説明書を正しく理解していないために起こった損害、故障は、シュメアザールの免責事項となります。

また、製造者に許可されていない代替 付属品による損害は、製造者の免責事項となります。

安全上の理由から、デバイスに対する独自の変更や不適切な修理、部品の交換や改造は厳として認められず、それが理由で発生した故障や事故に対し、シュメアザールは責任を一切負いません。


2. 製品内容

2.1 型番

本取扱説明書は以下の型式名を対象としています。

ZQ901-①

番号	記号	内容
①	11	1 NO / 1 NC
	13	1 NO / 3 NC
	22	2 NO 接点 / 2 NC 接点
	02	2 NC
	04	4 NC

 この取扱説明書に記載された情報が正しく実行された場合のみ、安全機能が維持され、機械指令への適合性が保たれます。

2.2 特殊仕様

2.1項の型式記号に挙げられていない特別仕様は、一般仕様に基づきます。

2.3 目的

ワイヤーロープ式非常停止スイッチは、機械やプラントで使用され、非常停止の指令は張られているワイヤーロープの、任意の位置で発せられなければなりません。張られたロープワイヤーを引っ張ったり、断線したり、オプションの非常停止スイッチを押すと、ワイヤーロープ式非常停止スイッチの切替機能が作動します（画像1参照）。

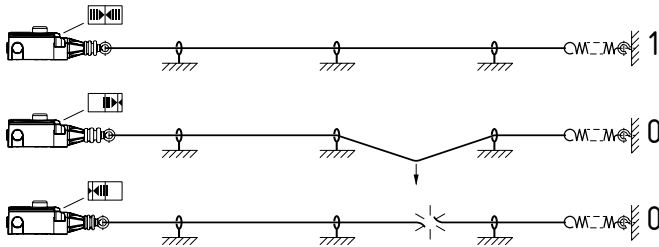




図 1: 位置表示と動作

構成と動作原理

ワイヤーロープ式非常停止スイッチは、ワイヤーに適切な事前張力をかけることによって作動状態になります。スイッチに内蔵されたスイッチエレメントは最大2個で、2接点又は4接点の内蔵されており、テンションが掛かっている状態で、NC接点は閉じ、NO接点は開いています。


ラッチング機構は青色のリセットボタンを押して手動リセットするまで非常停止信号を保持します。非常停止信号をリセットする前に、ワイヤーロープ全体を通して非常停止スイッチが作動された原因を特定する必要があります。リセットは、ワイヤーロープに適切なテンションが掛かっている時（テンションインジケーターが中央位置にある、図1参照）のみ可能です。

 使用者は、関連規格と要求される安全レベルに基づいてセーフティチェーンを評価し、設計しなければなりません。

 安全機器が組み込まれた制御システムの構想全体が、関連規格に適合していることを検証する必要があります。

2.4 技術データ

規格:	EN 60947-5-1, EN 60947-5-5, EN 620, EN ISO 13850
エンクロージャ:	鏡面仕上げ、ステンレス316
カバー:	鏡面仕上げ、ステンレス316
保護等級:	IP65, IP67, IP69 to EN 60529
汚染度:	3
接点材質:	銀
接点構成:	4端子2点ブレーク付き切換接点、1又は2NC接点 強制分離NC接点でスナップアクション
接続:	ネジ端子
ケーブル断面w積:	最大 2.5 mm ² (フェールール含む)
ケーブル引込口:	3 x M20
定格動作電流/電圧 I _n /U _n :	4 A / 230 VAC, 1 A / 24 VDC
定格インパルス耐電圧 U _{imp} :	6 kV
定格絶縁電圧 U _i :	500 V
閉鎖熱電流 I _{the} :	6 A
使用カテゴリ:	AC-15, DC-13
最大ヒューズ定格:	6 A gG Dヒューズ (EN 60269-1)
使用周囲温度:	-25 °C ... +70 °C
ワイヤーロープの長さ:	最大75 m 周囲温度による (図4参照)
機械的寿命:	> 100万回


 Input terminal wire size AWG: 14-22
Max. Torque: 7 Lb In
Use solid or stranded copper conductors only.

2.5 安全分類

規格:	EN ISO 13849-1
B10 _D NC接点:	100,000
ミッションタイム:	20 年


$$MTTF_D = \frac{B_{10D}}{0,1 \times n_{op}} \quad n_{op} = \frac{d_{op} \times h_{op} \times 3600 \text{ s/h}}{t_{cycle}}$$

(定義された値は、負荷同様アプリケーション固有のパラメーター h_{op}, d_{op} 及び t_{cycle} によって変化します。)


 複数の安全コンポーネントが直列に配線されている場合、特定の状況下ではエラー検出が制限されるため、EN ISO 13849-1 に基づくパフォーマンスレベルが低下します。


3. 取り付け

3.1 通常の取り付け方法

 設置は、システムの通電を遮断した状態で、許可を受けた担当者のみが行うことができます。

ワイヤーロープ式非常停止スイッチは 2 本のネジで取り付けられています (ネジ穴の距離 40 mm または 48 mm)。

 この装置は、手でロックを解除してもまったく危険がなく、スイッチからワイヤーの全長が見えるように配置してください。

 EN 60947-5-5 (EN 620)に基づいて、非常停止信号を出力させるワイヤーロープの最大垂直牽引力は200 N (125 N)とし、最大たわみ量を400 mm (300 mm)としてください。最大たわみ量に必要なスペースを十分考慮して取り付けてください。ワイヤーロープが常にまっすぐなコースをたどり、常に正しい位置を保持するように設置してください (方向転換点を含む)。ワイヤーロープは外部環境 (温度変化、経年変化) により影響をうけます。EN ISO 13850の情報を遵守してください。

張力がかかっているスパン長が最大 10 m の場合は、中間ワイヤ サポートが 3 m ごとに必要です。装置の機械振動によるワイヤーロープの共振を避けるため、中間ワイヤーロープサポートは不等間隔で取り付けの事を推奨します。取り付け方法については、図2をご参照ください。

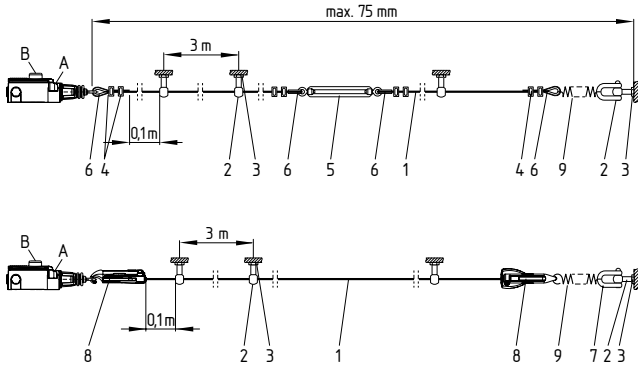


図 2: 各部品の組立

記号説明

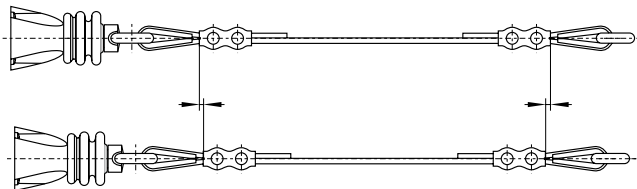
- | | | | |
|---|-----------------|---|---|
| A | テンションインジケーター | 1 | 赤色PVC被覆 0 5 mmのワイヤーロープ (スチール芯線: 0 3 mm) |
| B | ケーター
リセットボタン | 2 | アイボルト |
| | | 3 | ナット |
| | | 4 | ワイヤークランプ |
| | | 5 | テンショナー |
| | | 6 | ワイヤーシンプル |
| | | 7 | シャックル |
| | | 8 | ワイヤーテンショナーS900 |
| | | 9 | テンションスプリング ACC-RS900-TS |

温度変化の影響を減少させるために、テンションスプリングACC-RS900-TSの使用をお勧めします。ワイヤーロープの熱膨張特性により、認定されたワイヤーロープの最大長は周囲温度に左右されます (図4参照)。



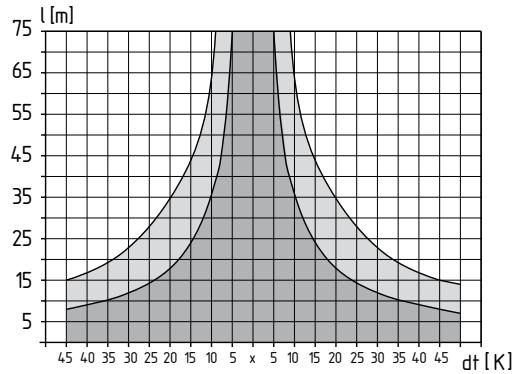
最適な操作上の安全性を確保し、設置時の時間を節約するために、Schmersalシュメザール製のワイヤーロープセットおよびテンショナーの使用をお勧めします。或いは、ワイヤーシンプルとワイヤークランプを、テンショナーと組み合わせて使う事も出来ます。その場合、ワイヤーロープを設置する前に、クランプ周りの赤いPVC被覆を剥がさなければなりません。

負荷が掛かるとワイヤーシンプルが変形しますので、取付け後にワイヤーロープをしっかりと数回引っ張ります。その後ワイヤーロープのテンションを再調整します (図3参照)。



画像 3: シンプルの変形

製品の正しい動作は、グラフに表示されるデータに直接関係します。ワイヤの最大長は、ワイヤシステムがさらされる温度変化によって異なります。外部テンションスプリングの有無に対応するワイヤーの長さをグラフに示します。



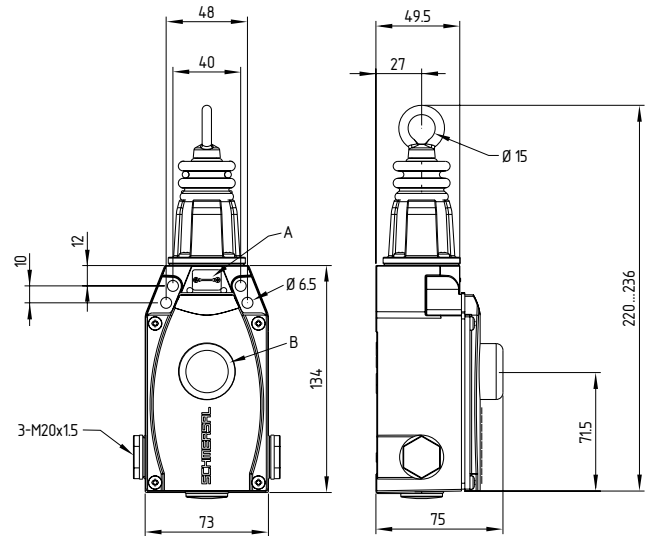
- x 参照温度
- テンションスプリングなし
- テンションスプリング有り

図4: テンションスプリング有り、なしの時の最大長の温度特性

ワイヤーロープはリングに固定し、テンションインジケーターが中央の位置になるようにあらかじめテンションを掛けておきます (図1参照)。

3.2 外形図

全ての寸法表記はmm



- 記号説明
- A テンションインジケーター
 - B リセットボタン

4. 電気配線

4.1 電気配線上の注意



電気配線は通電されていない状態で、専門技術者が実施してください。

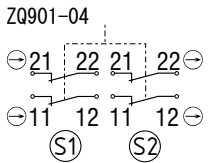
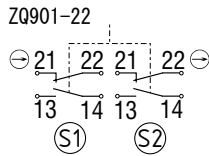
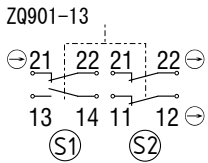
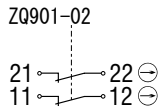
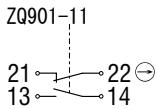
1. カバーネジを緩めます
2. 防塵キャップを外します
3. 保護等級に見合ったケーブルグランド M20 x 1.5 を使わなければなりません
4. ワイヤロープを張る時は、レバーシステムや押しボタンにワイヤロープが掛からないようにしなければなりません。
5. スイッチ内部は確実に清掃してください（配線屑を残さない）異物がスイッチ動作に影響します
6. 未使用のケーブル挿入口は、納品と同梱されているネジプラグを使用して密閉する必要があります（締め付けトルク 4 Nm）
7. カバーネジは均一に締めてください（締め付けトルク 1 Nm）

導体長さxの設定: 6 mm



4.2 接点仕様

接点是非通電状態で示されています。



記号説明:

- ⊖: 強制開離 NC 接点
- Ⓢ1, Ⓢ2: スイッチインサート S1, S2

5. セットアップとメンテナンス

5.1 機能テスト

セーフティコンポーネントの安全機能をテストする必要があります。以下の条件を事前にチェックし、適合していなければなりません:

1. ワイヤロープ式非常停止スイッチが正しく取り付けられているかチェック
2. 配線引込み口及び配線のチェック
3. エンクロージャが破損していないかチェック
4. ワイヤロープを操作した時にスイッチが機能するかチェック
5. テンションインジケータでワイヤロープの張り具合をチェック

5.2 メンテナンス

通常の見視及び機能テストに加えて、以下のチェックを推奨します。

1. ロープを引いてスイッチが機能するかチェックし、非常停止スイッチが付いていればそれもチェックする
2. 配線引込口及び配線のチェック
3. 埃や汚れを取り除く
4. ワイヤのポジション表示器でワイヤのテンションをチェックし、ワイヤに異常がないか、きちんと張られているか、ガイドに異常はないかチェック



張力がかかった状態でエンクロージャを開かないでください。

破損、故障の場合は交換してください。

6. 取り外し および廃棄

6.1 取り外し

セーフティスイッチの取り外しは非通電状態で行わなければなりません。

6.2 廃棄処分



セーフティスイッチは国家規格や法規に従って、適切な措置により廃棄しなければなりません。

7. 適合宣言

ここに、以下に述べるコンポーネントが、その基本設計と構造に於いて、適用可能な欧州指令に適合している事を宣言する。

関連指令:



2006/42/EC
2011/65/EU

適用規格:

EN 60947-5-1:2017 + AC:2020
EN 60947-5-5:1997 + A1:2005 + A11:2013 + A2:2017
EN 620:2002 + A1:2010
EN ISO 13850:2015



最新の適合宣言書はインターネット (products.schmersal.com) からダウンロードできます。